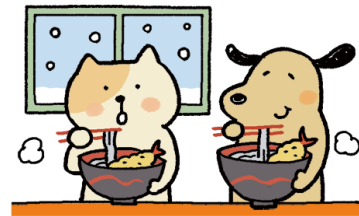


# 食育だより



令和6年(2024年)1月 豊中市立庄内さくら学園 栄養教諭 高木智子

## 豊中市での災害の備え

令和6年1月1日に発生した能登半島地震により、犠牲となられた方々にお悔やみを申し上げるとともに、被災されたすべての方々に心よりお見舞い申し上げます。また、被災地域の皆様の生活が、1日でもはやく平穏な生活に戻れますことを心よりお祈り申し上げます。

29年前の1月17日に起きた阪神・淡路大震災では、身近な場所で甚大な被害がたくさん出ました。実際、児童の保護者の方にも被災された方がいらっしやっただようです。家屋の倒壊により生活ができなくなった方たちが、多い時で30万人以上いたといわれています。小学校のグラウンドにも仮設住宅やテントが設置され、旧第六中学校も避難所生活の場だったそうです。庄内さくら学園もいつでも避難所開設ができるように、豊中市としても大アリーナや小アリーナにもテントやベッドの備蓄をしています。

それ以外にも豊中市では災害に備え、非常用保存食などの生活必需品を備蓄しています。その一部を入れ替えのため、市内全校の6年生へアルファ化米が配布されました。(アルファ化米とは、炊かなくても湯や水を注ぐだけで食べることができる米です。)これを受け取ることで、いつ起こるかわからない災害に備えて欲しいという思いが込められています。



しっかりと梱包され、さらにビニールでしっかり覆われています。その中に非常食(アルファ化米)が入っています。



## 6年生 災害の備え



6年生『災害への備え』の授業では、過去の地震が起こった場所の分布図を見せられ、震度6以上の地震が地方・地区のかたよりがなく、日本全国で起こっていることを確認しました。

“食育”と“防災”は一見関係ないように思われるかもしれませんが、実際に電気・ガス・水道のライフラインが機能しないとどうなるのか?というところで、とても密接に関係します。災害は地震だけではなく、台風や豪雨、大雪などでも甚大な被害がでることもあります。突然災害が起きてすぐに食べ物の支援が受けられるとは限りません。そのため、最低3日分の食料や水の用意が必要だと言われています。どのようなものが良いのか非常食についても説明をしました。

見直そう!

## 食品の備蓄



授業後の振り返りでは、たくさんの児童の思いが書かれていました。

- ・いつ起こるかわからないので、家族と防災について考えていきたい。
- ・普段の生活のありがたさを感じた。
- ・部屋の棚に荷物を積み上げているので、落下してこないように片付けたい。
- ・避難訓練の大切さを改めて感じた。自宅での避難ルートも家族と確認したい。
- ・非常食について考えていなかったけど、準備したいと思う。
- ・救援物資などですぐ食べ物をもらえると思っていたけど、そうじゃないことがわかったので準備したい。

など簡単な抜粋ですが、1人1人の防災の意識が高まったと思われる意見がほとんどでした。豊中市では『市民ひとりひとりが防災対策をする』『災害に備えて食品を備蓄する』と目標が定められています。食育だより9月号でも非常食について触れましたが、ぜひこの機会にご家庭でも防災について確認していただきたいと思います。

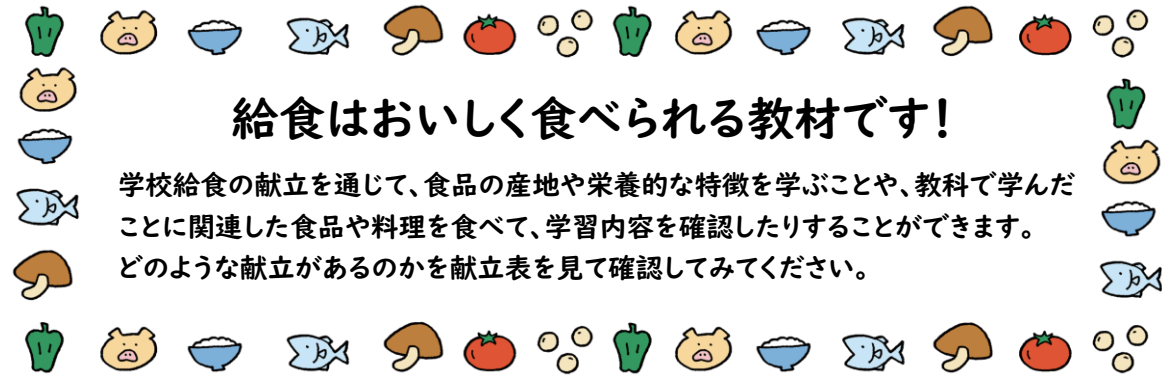
裏面に続きます



# 全国学校給食週間

1月24日から30日は全国学校給食週間です。「何それ??」と、初めて聞いた方もいらっしゃるかもしれません。全国学校給食週間とは、学校給食の意義や役割などについて多くの方に知ってもらい、学校給食の充実と発展を図ることを目的として定められました。

学校給食は子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけるために重要な役割を果たしていく位置づけとされています。



## 給食はおいしく食べられる教材です!

学校給食の献立を通じて、食品の産地や栄養的な特徴を学ぶことや、教科で学んだことに関連した食品や料理を食べて、学習内容を確認したりすることができます。どのような献立があるのかを献立表を見て確認してみてください。

※ 献立の内容は、独立行政法人日本スポーツ振興センターの献立レプリカを参考にしています。豊中市では出ていない献立もあります。

## →→→ 学校給食の献立の移りかわり →→→

明治 22 年	昭和 22 年	昭和 25 年	昭和 40 年	昭和 52 年
おにぎり・塩さけ・菜の漬物	ミルク(脱脂粉乳)・トマトシチュー	コッペパン・ミルク(脱脂粉乳)・ポタージュスープ・コロツケ・せんキャベツ・マーガリン	ソフトめんのカレーあんかけ・牛乳・甘酢あえ・果物(黄桃)・チーズ	カレーライス・牛乳・塩もみ・果物(バナナ)・スープ

今の給食と比べたり、ご家庭で給食の思い出を話したりしてみませんか?



## 知っていますか?? 学校給食の歴史

### 学校給食の始まり

日本の学校給食の起源は、明治22年に山形県鶴岡町(現在の鶴岡市)にあったお寺の本堂に作られた忠愛小学校で貧困児を対象に昼食を無償で提供したものであるといわれています。当時の献立は、おにぎり・塩さけ・菜の漬物だったそうです。



### 脱脂粉乳って何?

脱脂粉乳は、牛乳の脂肪分を除き、乾燥させて粉にしたものです。現在も「スキムミルク」として販売されています。学校給食は戦争で一時中断となりましたが、太平洋戦争後、食料不足で苦しむ子どもたちのためにアメリカなどからの脱脂粉乳などの援助物資を受けて再開することができました。




### ★今月の動画★

豊中市内の子どもたちに、より食に興味を持ってもらうため、毎月テーマを設定し豊中市内の栄養教職員で動画を作成しています。作成した動画は、毎月市内小学校児童(保護者)へYouTubeの限定配信をしており、給食時間に視聴してもらっています。

今月のテーマは、『全国学校給食週間について』です。5分程度の短い動画のなかで、全国学校給食週間についてや献立の説明をしています。良ければ、お家でもご覧ください!

※前期課程は、1月23日~26日の4日間  
 ※後期課程は、1月30日と31日の2日間の献立を学校給食週間献立としています。



Youtube用QRコード

